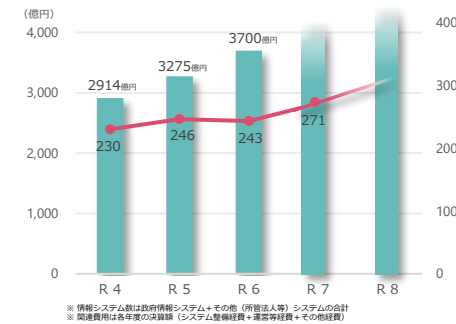


課題

- 厚生労働行政は国民のライフステージ全般に幅広く関与するもの。年々増大する国民の多様なニーズに 대응するため、AIその他のデジタル技術の利活用をより一層推進していく必要がある。
- その結果、厚生労働行政に関わる情報システムが年々増大（厚生労働省所管の情報システム数は271、関連費用は約3,700億円/年）。

➡ 将来にわたり国民の生活を守り支えるため、情報システムの適正化を強力に推進する

(参考) 厚生労働省所管の情報システム数・関連費用



対応方針

- 1 【組織体制の強化】 厚生労働省の情報政策機能の強化を目的とした組織再編** ※令和8年夏に実施予定
新たにDX専属の局長級幹部（政策統括官（情報政策担当（仮称）））を設置予定
DX専属職員の最高職責を局長級として情報政策に係る司令塔機能を強化
- 2 【新たな取組の実施】 PMOの更なる機能強化のための取組** ※組織再編に合わせて実施する方向で検討中
 - PMO支援チーム（アドバイザー+PMO職員）を複数編成し、情報システム構築等の企画段階から各部局を個別伴走型で積極的に支援。職員を後方支援する民間事業者の活用（AIを用いた調達仕様書の審査支援など）
 - 省全体の情報システム適正化に関するPMOの権限・責任を強化
各部局における情報システム構築等についてPMOの事前承認をルール化、今後のシステム整備・運用方針についてPMOに年次報告等
 - 情報システム適正化に向けた職員行動規範の策定
幹部職員を含む組織全体としての情報システム適正化推進やPMOとの緊密な連携、制度とシステムの一体的な検討など、基本的かつ重要な事項を行動規範として整理
- 3 【人材確保・育成】 省内外からのデジタル人材の確保・育成** ※一部実施済み・更なる取組を検討中
各人事GからPMOへの職員派遣、民間からの高度人材確保、省全体のデジタル人材育成に係る具体策の検討

・・・etc.